

第26回大会参加の手引き



・第26回大会運営方法

本大会におけるすべてのパネル・報告セッションは対面で開催されます。1日目の公開シンポジウムの後には学会賞表彰式、2日目の最後のセッションの後には閉会式がございます。ふるってご参加ください。

なお、第26回大会では大会としての飲食を伴うパーティ形式の交流会を実施します。ネットワーキングにご活用ください。

・第26回大会参加申し込みについて

事前に大会HPの会参加申込受付から事前に参加申し込みをお済ませください。当日が近づきましたら、大会事務局から交通アクセスなどの詳細についてもメールにてご連絡いたします。また、公開シンポジウムのみに参加の場合でも、大会申込ページよりお選びいただき、お申込みください。



・大会エクスカージョン企画参加申し込みについて

エクスカージョン企画については、大会参加申込とは別の申し込みが必要となります。事前に大会HPのエクスカージョン参加申込よりお申し込みください。

・事前配布資料

大会実施にあたって、事前に概要集を大会HPで公開いたします。また、大会参加申し込み者の方々には、報告者の報告論文・報告資料等を公開します。大会特設サイトからダウンロードしていただけます。事前に情報をご収集の上、参加セッションをお決めいただければ幸いです。

・当日配布資料

当日各報告者が資料を配布することがありますが、配布については各報告者の任意であり、印刷部数についても各報告者の判断となります。すべてのセッション参加者に行きわたらないことがありますので、ご了承ください。

・ランチについて

会場周辺に飲食店が少なく、学食等も休業となるため、大会期間中の昼食についてお弁当の注文を受け付けいたします。お弁当の注文は、大会申込ページよりお申込みください。なお、両日とも大学構内にキッチンカーが手配される予定ですが、軽食（パン）のみです。または高崎駅などでの事前購入をお勧めします。

- **会場までのアクセス**

高崎駅から路線バスに乗り、「高崎経済大学前」バス停で下車すぐです。また大学の無料送迎バスも運行しております。時間等の詳細は、大会HPからご確認ください。

- **会場におけるフリーWi-Fi**

大会期間中、会場にて、参加者が自由に利用できるフリーWi-Fiをご用意しています。ぜひご利用ください。なお、接続に必要なIDとパスワードは、当日会場にてお知らせいたします。

登壇者マニュアル

(報告者、モデレーター、討論者、パネリスト等)



・事前準備

事前打ち合わせが必要で登壇者のアドレスを知りたい場合は大会事務局 (takasaki26@janpora.org) にご連絡ください。

大会が開催される特設サイトから報告者の報告論文・報告資料等をダウンロードできます。それらに基づいてご報告やご討論をお願いします。大会特設サイトのURLは、大会参加申込時にご登録のメールアドレス宛にお知らせいたします。

・当日配布資料

当日、報告者が資料（報告論文・報告資料）等を印刷して配布するかしないかは、報告者の任意・自己判断としております。

・会場各教室の機材

会場各教室には、教卓ノートパソコン、プロジェクター、マイクがございます。報告を行う方は、USBでデータを教卓ノートパソコンに移動して使うことができるほか、ご自身のノートパソコンを持参して接続することもできます。その場合、会場のプロジェクターとの接続はHDMI形式のケーブルのみとなります。

・セッションのタイムライン

1セッションの時間は100分です。大会全体のスケジュール管理の観点から、セッション終了時間は厳守してください。終了時間が超過した場合、次のセッション準備に影響が出ますので、くれぐれも時間が超過しないようにご注意ください。各セッションに配置される学生スタッフはタイムキープを行いません。進行管理・時間管理は、モデレーターに一任しますので、時間内の終了に何卒ご協力よろしくお願いします。

パネルセッションの進め方等については、モデレーターが自由に設定してください。

報告セッションでは、1報告につき「報告15分」＋「討論者のコメント5分」＋「質疑応答10分(参加者からの質問への応答を含む)」の合計30分の時間配分となります（報告者の入替時間等を含みま



す)。とくに報告15分は時間を厳守するようにしてください。なお、報告者や討論者のPCにトラブルが生じて、持ち時間は延長せず、予定の時間配分での進行をお願いします。

3つの報告（コメントと質疑を含む）30分×3=90分の終了後、セッション終了時間までの数分～10分以内で、モデレーターの方には以下の進行をお願いします。報告者同士が互いに対するコメントもしくは今日のセッションで得たものについての発表（一人2分×3=6分以内）、モデレーターによる総括（4分以内）に充て、研究報告と実践報告両方が含まれるセッションは、できれば「理論と実践の相補や相乗」を意識した総括にしてください。ただし、進行の都合で総括の時間が取れない場合は、省略・短縮して結構です。全体で100分以内に終了できるように、時間管理にご留意ください。

2つの報告しかない場合は、その分時間を減らして行ってください。

・セッションの進め方

セッション間の休み時間は15分取っております。早めにセッション会場にお集まりいただき、事前打ち合わせや報告時の機材の動作確認を行うことを推奨します。

また、学生スタッフとのお打合せについてもセッション開始前にお済ませください。

モデレーターの方にはタイムキーパーをお願いします。セッションのスタート、終了、報告者の時間管理は、全てモデレーターが責任を持って行ってください。**（くりかえしになりますが学生スタッフは時間管理を行ないませんのでご了承ください。）**



・モデレーター、討論者の方へ予備審査のお願い

各セッション終了後、モデレーターと討論者の方には、優秀発表賞の選定に向けた予備審査をお願いしております。事務局より別途審査フォーマットをご送付いたしますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。